

# 中学地理プリント（過去問類似）

## 中国・四国地方

名前

得点

/7

**問1** 中国地方に位置する岡山県は、県名と県庁所在地の名称が一致している県の一つです。この県のように、明治時代の廃藩置県を経て成立した自治体において、中心的な城下町の名称がそのまま県名に採用されたケースは多く見られます。岡山県において、県庁が置かれている都市の名称として正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 岡山市                                      2. 倉敷市                                      3. 津山市                                      4. 玉野市

**問2** 四国地方の県庁所在地の位置関係において、四国山地を境に他の3つの県庁所在地とは離れて太平洋側に位置し、かつて土佐藩の城下町として発展した都市はどこですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 徳島市                                      2. 松山市                                      3. 高知市                                      4. 高松市

**問3** 岡山県から四国側への自動車による到達圏域の変化を調べた調査において、1985年時点と比較して、2011年時点では四国側のより広範囲の地域へ短時間で到達できるようになっています。このような変化が生じた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。                                      2. 1988年に青函トンネルが開通し、全国的な高速道路網の整備が完了したため。                                      3. 1998年に明石海峡大橋が開通し、徳島県から岡山県への移動が容易になったため。                                      4. 瀬戸内海沿岸の埋め立てが進み、四国との間の海上の距離が物理的に短くなったため。

**問4** 宮崎平野や高知平野などの冬でも温暖な地域では、ビニールハウスなどの施設を利用してピーマンやなすなどの夏野菜を栽培し、本来の収穫時期よりも早い冬から春にかけて出荷する工夫が行われています。このような栽培方法を採用する最大の利点は何ですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ出すことで、有利な価格で販売できる点                                      2. 大都市に近い立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な状態で出荷できる点                                      3. 冷涼な気候を利用して収穫時期をあえて遅らせることで、供給を安定させる点                                      4. 同じ土地で一年に二度、同じ作物や異なる作物を栽培して収穫量を増やす点

**問5** 吉備中央町における2014年から2021年にかけての農業の動向について、統計的な傾向を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。                                      2. 高齢化による離農者が相次いだため、1戸あたりの経営面積は縮小したが、ブランド化による単価上昇によって果実の産出額は横ばいとなっている。                                      3. 耕作放棄地を工業団地へと転用したため、農地面積は減少しており、果実の産出額も2014年以降、減少傾向にある。                                      4. 品種改良によって収穫時期を分散させることには成功したが、経営規模や新規就農者の数については、期間を通じて大きな変化は見られない。

**問6** 岡山県と東京の間の移動において、航空機の利用割合が約3.5割であるのに対し、鉄道の利用割合が約6割と高くなっています。このように鉄道が主要な移動手段となっている理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 愛媛県公立入試 類似）

1. 新幹線の所要時間が約3時間強であり、空港への移動時間等を含めた航空機の利便性と比較して競争力が高いため                                      2. 岡山県内には空港が整備されておらず、隣接する県まで移動する手間がかかるため                                      3. 東京との距離が非常に近く、航空機を運航させるための採算が取れない距離にあるため                                      4. 山陽新幹線の運賃が全国の他の路線と比較して極めて安く設定されており、経済的優位性が高いため

**問7** 中国・四国地方の気候について、鳥取市、高松市、高知市の3つの都市の気象データを比較したとき、高知市のデータに共通して見られる特徴として正しいものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）

1. 夏から秋にかけて降水量が非常に多く、冬は乾燥して晴天の日が多い                                      2. 冬の降水（雪）量が年間で最も多く、夏は比較的気温が上がらない                                      3. 年間を通じて降水量が1000mm程度と極めて少なく、気温の変化も穏やかである                                      4. 梅雨や台風の影響をほとんど受けず、年間を通じて乾燥している

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>岡山市</b>	岡山県は、江戸時代の岡山藩の拠点であった岡山城下を中心に成立しました。明治時代の廃藩置県において、旧藩名である「岡山」がそのまま県名および県庁所在地の名称として引き継がれたため、両者は一致しています。同じ中国地方の広島県（広島市）なども同様のケースですが、島根県（松江市）や山口県（山口市）のように、県名と最大の都市名が異なる、あるいは県名と県庁所在地名が一致しない例も存在します。
問2	<b>答え 3</b> <b>高知市</b>	高知県は四国山地によって瀬戸内海側の各県と隔てられており、その中心である高知市は太平洋に面した高知平野に位置しています。歴史的には山内一豊が入城して以来、土佐藩の城下町として政治・経済の中心地となってきました。温暖多雨な気候が特徴で、ビニールハウスを用いた野菜の促成栽培などの地理的特色も持っています。
問3	<b>答え 1</b> <b>1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。</b>	岡山県から四国側への自動車の移動時間が大幅に短縮されたのは、1988年の瀬戸大橋開通が最大の理由です。それ以前はフェリーによる海上輸送が中心であり、天候の影響を受けやすく時間もかかっていましたが、陸路（橋）で結ばれたことで24時間の安定した往来が可能となり、生活圏や経済圏が拡大しました。明石海峡大橋は兵庫県（神戸市）と淡路島を結ぶルートであるため、岡山県からの直接的な到達圏拡大の主因とは言えません。
問4	<b>答え 1</b> <b>他の産地の出荷が少ない時期に市場へ出すことで、有利な価格で販売できる点</b>	冬でも暖かい気候の特性を活かし、ビニールハウスなどで作物の成長を早める栽培方法は促成栽培と呼ばれます。この方法の主な目的は、一般的な産地からの出荷が本格化する前の、品薄で市場価格が高い時期を狙って出荷することにあります。これにより、農家は高い収益を得ることが可能となります。
問5	<b>答え 1</b> <b>新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。</b>	吉備中央町の統計では、2014年から2021年にかけて営農規模（1戸あたりの面積）が26aから37aへと拡大しています。これは町による「ぶどう生産団地」の整備や共同出荷体制、研修制度の充実が功を奏し、意欲のある新規就農者が増えたためです。この経営規模の拡大に比例するように、果実の産出額も同期間で顕著な増加を示しており、地域の基幹産業としての成長が見て取れます。
問6	<b>答え 1</b> <b>新幹線の所要時間が約3時間強であり、空港への移動時間等を含めた航空機の利便性と比較して競争力が高いため</b>	交通手段の選択において、利用者は「ドア・ツー・ドア（出発地から目的地まで）」の総所要時間を重視します。岡山県の場合、山陽新幹線の「のぞみ」を利用すれば東京まで約3時間10分程度で到着できます。航空機を利用する場合、搭乗手続きや羽田空港・岡山空港へのアクセス時間を考慮すると新幹線と同等か、場合によっては新幹線の方が早く目的地に到着できるため、鉄道の利用割合が高くなっています。
問7	<b>答え 1</b> <b>夏から秋にかけて降水量が非常に多く、冬は乾燥して晴天の日が多い</b>	高知市は「太平洋側の気候」に属しています。夏は南東からの湿った季節風が四国山地にぶつかって、上昇気流が発生することで多くの雨が降ります。また、台風の通り道になることも多く、夏から秋にかけての降水量が非常に多くなるのが特徴です。一方で、冬は四国山地が北西の季節風を遮るため、乾燥した晴天の日が続きます。これに対し、冬に降水量が多いのは日本海側の鳥取市、年間降水量が極端に少ないのは瀬戸内側の高松市の特徴です。